

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
放射線医学研究所 共創推進部 人財・交流課
(旧 量子生命・医学部門 人材育成センター)

令和6年度(第36回・第37回・第38回)

「放射線事故初動セミナー」募集要項

1. 目的

放射線による被ばくもしくは放射性物質による汚染事象が起きた際の現場での対応、被災者の搬送などについて必要な知識と技能を習得し、各機関での中心的な役割を担える人を養成することを目的としています。

2. 対象者

全国の消防・救急、警察などを含めた放射線事故初動対応者、搬送関係者、放射線利用施設の防災・安全担当者、防災・危機管理担当の自治体関係者

3. 募集人員、研修期間及び申込期間

回数	申込人数	研修期間(4日間)	申込開始日	申込締切日*
第36回	各 20名	令和6年 5月14日(火)～5月17日(金)	3月7日(木)	4月7日(日)
第37回		令和6年 9月24日(火)～9月27日(金)		8月4日(日)
第38回		令和6年 10月22日(火)～10月25日(金)		9月4日(水)

*応募状況により、申し込み締切日を早めさせていただく場合がございます。

当機構HP「研修生募集」の案内をご確認下さい。

※諸般の事情により、開催内容や日程等が変更もしくは開催中止になる可能性があります。変更の場合にはWebに掲示するとともに、既に申し込まれた方には電子メールにてお知らせします。

4. 実施場所

〒263-8555

千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

放射線医学研究所 共創推進部 人財・交流課 研修棟(旧 量子生命・医学部門 人材育成センター)

[交通: JR総武線稲毛駅東口より徒歩約10分]

5. 研修科目

別記 時間表のとおり

カリキュラムの特徴

- 放射線が関わる事故・災害・テロへの対処に必要な放射線に関連する基礎的知識から高度な知識、技術までを扱う
- 放射線事故・災害・テロを想定し、初動対応について放射線防護、被ばく医療、線量評価の観点をふまえたグループ討議による机上演習
- 許可線源、表示付認証機器、測定器を用いた汚染事故対応実習

6. 受講料(予定)

40,000円(消費税込。銀行振り込みで納付)

7. 受講申込み

- (1) 当機構 HP 《[研修課程 Web 申し込みフォーム](#)》よりお申し込み下さい。

<https://www.nirs.qst.go.jp/information/training/invitation/webentry/index.php>



※Webでお申し込みができない場合は下記メールアドレスまでご連絡をください。

E-mail kenshu@qst.go.jp

※ 以下の点にご注意下さい。

- E-mail アドレスは添付ファイルの受信可能なもの（PC・スマートフォン等）をご記入下さい。ドメイン指定受信をされている場合には、@qst.go.jp のドメインを受信できるよう、設定をお願いします。
- 控えとして《お申し込み内容の確認》画面を各自で印刷し保管して下さい。
- 《申し込む》ボタンを押して申し込みが完了すると前画面の取り戻しはできません。
- 自動送信メール《「第〇〇回 放射線事故初動セミナー」受講申し込みを受け付けました》が届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡をお願いします。

- (2) 同一組織から複数名申し込まれる場合でも、まとめてのお申し込みは受け付けいたしませんので、申し込み者ごとに《Web 申し込みフォーム》への入力をお願いします。また、推薦順位を《受講理由》欄へ《推薦順位〇位》と必ず記入して下さい。

8. 受講決定と通知

- (1) 申込者多数の場合には厳正な選考の上、受講者を決定させていただきます。
- (2) 研修開講日の原則3週間前までにご本人（および所属長）宛に結果を郵送します。また、受講に必要な書類を同封します。研修開講日の3週間前を経過後も結果通知と書類が届かない場合は、下記「お問い合わせ先」までご連絡下さい。
- (3) 受講決定後でも社会通念上不相当と認める事由がある場合には、受講決定を取り消すことがあります。

9. 修了証書の授与

所定の研修時間を履修された方には、修了証書を授与します。

10. 宿泊施設の利用

- (1) 申し込み時に、当機構の宿泊施設（個室）利用の有無を選択の上、ご利用を希望される方は、チェックインおよびチェックアウトの希望日をご記入下さい。
- 宿泊利用可能な最長期間は、研修開講日前日 15 時から閉講日翌日の朝 9 時までです。
 - 部屋数に限りがあり、ご希望に添えない場合がありますので、予めご了承下さい。
- (2) 宿泊施設に食堂はありません。昼食は重粒子治療推進棟 1 F 食堂のご利用が可能です。朝食・夕食は近隣のコンビニ、レストラン等をご利用ください。

(3) 宿泊施設、機構敷地内は全面禁煙ですので、ご協力をお願いいたします。

(4) 宿泊料金（予定、宿泊する棟により料金が異なります）

泊数	宿泊料金（消費税込）
3泊 4日	6,300円 または 6,600円
4泊 5日	7,700円 または 8,100円
5泊 6日	9,100円 または 9,600円

11. 受講取り消しと返金

(1) 応募を取り消される場合は、お早めに下記「お問い合わせ先」までご連絡下さい。

(2) 受講決定通知後の申込の取り消しには「辞退届」の提出が必須となります。なお、研修開講日2週間前を経過して取り消される場合には、原則、受講料を全額ご請求させていただきますので、予めご了承ください。

(3) 一旦納付された受講料は、当機構の都合で研修を中止する場合を除き、原則返却致しません。

12. お問い合わせ先

〒263-8555

千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

放射線医学研究所 共創推進部人財・交流課（旧 量子生命・医学部門 人材育成センター）

Tel 043-206-3048（ダイヤルイン）

E-mail kenshu@qst.go.jp

お申し込みにおける個人情報の取り扱いについて

お申し込みにご記入いただきました氏名、住所等の個人情報は、当機構の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、下記の利用目的以外では一切使用いたしません。

- ① 受講生への緊急連絡のため
- ② 講師への情報提供のため（職務内容、専門性など）
- ③ 研修終了後のフォローアップのため
- ④ その他研修業務の遂行のため

共創推進部が取り扱う皆さまの個人情報に関するお問い合わせ先

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

放射線医学研究所 共創推進部 人財・交流課 個人情報取扱管理担当

E-mail hrdc-nirs@qst.go.jp

Fax 043-251-7819

第36～38回 放射線事故初動セミナー 時間表

第36回: 令和6年 5月14日(火)～17日(金)
 第37回: 令和6年 9月 24日(火)～27日(金)
 第38回: 令和6年10月22日(火)～ 25日(金)

教室: 講義室2 (それ以外の教室使用に関しては時間表参照のこと)

1 日 目	9:00-9:20	I 9:20 - 10:10	II 10:20 - 11:00	III 11:10-12:10	IV 13:10 - 14:10	V 14:20 - 15:00	VI 15:10 - 17:00	
	開講式 プレ テスト	放射線の基礎	放射線の人体影響	放射線事故現場 での放射線防護	放射線の測定機器 について	デモンストレーション (含 立入説明)	実習: 放射線測定機器の取扱い GMサーベイメータ、RadEye ①15:10-16:00、②16:10-17:00 【実習室3】 電離箱、NaI(Tl)サーベイメータ、RadEye ①15:10-16:00、②16:10-17:00 【実習室1】	
2 日 目	I 9:00 - 10:00	II 10:10 - 11:40	III 12:40 - 13:40		IV 13:50 - 15:30	V 15:40- 17:00		
	放射線事故例	事故・テロ・災害時の 初動対応 (放射線)	事故・テロ・災害時の 初動対応 (化学剤・爆発物)		実習: 二次汚染の防止 ①13:55-14:35、②14:45-15:25 【測定室1】	実習: 汚染患者対応 ①15:40-16:15、②16:25-17:00 【実習室3】		
3 日 目	I 9:00 - 12:30				II 13:30 - 17:00			
	机上演習: 想定問題に基づく討議 【講義室3】				実習: 放射線事故における初動対応 ①13:35-14:55: 1班、②15:05-16:25: 2班 ③16:30-17:00: 実習まとめ 【被ばく医療施設前】			
4 日 目	I 9:00 - 10:15	II 10:25-11:25	III 11:35-12:35	12:35 - 13:00				
	実習: 救急車養生 【REMAT車輛庫】	放射性物質の 輸送の現状	原子力発電所 における放射線 管理の役割	ポスト テスト 閉講式				

注) 時間表は随時見直されていますので、若干の変更があることをお含みおき下さい。